

## 第 11 回 大阪蘇生アカデミー開催概要

**テーマ:** 心肺蘇生の近未来

**開催日:** 2023 年 12 月 5 日(火)

**会場:** AP 大阪駅前 B2F「AP ホール」+ Zoom Webinar によるハイブリッド開催

内容:

午前の部では『高齢者救急を再考する』をテーマに、最初にキーレクチャーとして『東京都における院外心停止症例の現状と課題』というタイトルで、東京都における高齢者の心停止への対応やその課題についてご講演をいただいた。その後『病院前における Universal TOR ルール』、『岐阜県における DNAR プロトコル』、『救急医療と地域組織の連携』、『在宅医療と救急医療の連携』『改正救急救命士法』について各分野で活躍されている演者よりご講演いただいた。各講演に対して、会場およびオンラインの参加者からもたくさんの質問があり、行政の担当者も交えて活発な議論があった。超高齢社会を迎える日本での高齢者救急の在り方が救急医療の現場において喫緊の課題であることが伺われた。

午後の部では、日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野教授 横堀将司先生より、特別講演として『神経集中治療と心肺脳蘇生：患者転帰改善の方略』というタイトルでご講演をいただいた。また、シンポジウム『心肺蘇生の近未来』においては、東京都で行われている救急現場や救急車内のライブ配信の取り組みについて紹介していただいた。この話題に関しては昨年度の参加者アンケートでも要望が多く、高い関心を持たれている。また、救急医療現場での DX の活用や近年設立された病院前における新生児蘇生トレーニングコース、PHR を用いた心臓突然死のリスク評価や予防の取り組みに関しても各分野で活躍されている演者よりご講演をいただいた。

最後に、医療だけでなく様々な分野において世界中で急速に利用拡大をしている人工知能 (AI) を救命現場で活用することの是非に関して ProCon 形式での議論を行った。AI を活用することで救命現場に与えるメリットだけでなく、逆に AI を活用することにより想定されるリスクや AI の弱点についても様々な意見が出て、活発な議論を行うことができた。

また、昨年度に引き続き企業共催セミナーを行い、本年度は日本ストライカー株式会社にランチョンセミナー『救命率向上を目指した High Performance CPR の実践』、旭化成ゾーメディカル株式会社にイブニングセミナー『あなたは どうする？ : デジタル化が進む米国救急医療の現場より』をそれぞれご協賛いただいた。

成果:

本年度も現地開催(大阪市内)と Zoom webinar によるハイブリッド開催で行った。救急救命士を主な参加者としつつも、医師、看護師、学生など様々な職種から 1400 人を越える

参加申し込みがあった。当日は現地に 74 名の参加者に足を運んでいただき、オンラインでは常時 500 人以上のアクセスをいただき、本会の内容が広く救急に携わる皆さまの知識に還元される会となった。本会終了後のアンケートの結果からは、大変多くの参加者が本会の内容に満足し、次回の開催を期待している事を窺い知ることもできた。

<主催> 特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会

<後援> 大阪府、大阪府下消防長会、公益財団法人日本 AED 財団

<共催> 大阪医科薬科大学 救急医学教室

大阪公立大学医部附属病院 救命救急センター

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

京都大学大学院医学研究科 予防医療学分野

<協賛>

(順不同) 旭化成ゾールメディカル株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、日本光電工業株式会社、日本ストライカー株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、レールダルメディカルジャパン株式会社、株式会社ドーン、栄和産業株式会社、浜松ホトニクス株式会社、アイ・エム・アイ株式会社、ジーエムメディカル株式会社、株式会社富士メディカルサービス、TXP Medical 株式会社、コーケンメディカル株式会社、株式会社メディコン

連絡先

(住所) 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-17-5 ス튜디오新大阪 416 号

(氏名) NPO 法人 大阪ライフサポート協会 事務局

(電話・FAX 番号) TEL : 06-6370-5883 FAX : 06-6370-5884

## 当日写真

AM 開会挨拶



AM キーレクチャー



AM 会場の様子



AM 閉会挨拶





企業展示

